

日本映画放送株式会社 第 47 番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 15 時～16 時
2. 開催場所 : 東京都千代田区有楽町 1-1-3 東京宝塚ビル 15 階
日本映画放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 8 名 / 出席委員数 8 名
出席委員(順不同、敬称略) : 菊地 実・鈴木 嘉一・川本 三郎・坂井 保之・
曾根 和子・田保橋 淳・鳥居 美砂・西 正
放送事業者側出席者 : 代表取締役社長 杉田 成道
常務取締役 佐藤 信彦
編成制作局長 宮川 朋之
編成制作部 小野田光美
編成制作部 河田 隆司
編成制作部 槌谷 昭人
番審担当 堤 靖芳
清水 明 (記)

4. 議題 (1) 審議事項

時代劇専門チャンネル、「時代劇専門チャンネル夏祭り」

(2) 報告事項

日本映画専門チャンネル、映画『本日ただいま誕生』TV 初放送

時代劇専門チャンネル、「藤沢周平 新ドラマシリーズ」

5. 議題 (1) 概要

時代劇専門チャンネルは、この 7 月 19 日(日)に「時代劇専門チャンネル夏祭り」と銘打って、朝 11 時から夜 7 時まで特別編成を行い、人気シリーズ作品から珠玉のエピソードを厳選して放送した。同日は南町奉行所跡地の有楽町駅前広場等で、イベント「時代劇まつり in 有楽町」を開催。ドラマの合間にイベント会場からチャンネルのオリジナル番組「時代劇ニュース オニワバン!」の公開生中継も実施した。

【審議 POINT】

- 番組とイベントが視聴者にとって楽しく、未契約者にとっても魅力的なものが見えたか。
- 番組はこれまで実施、放送してきたイベントおよびその中継番組と比較して評価できるか。

6. 議題（1）審議内容

- ・会場も江戸時代の南町奉行所跡で、時代劇専門チャンネルの「夏祭り」に相応しいし、通行人が多い場所なので、多くの人がチャンネルを認知する機会にもなただろう。イベントとしてのメリットは大きかったと思う。ただ、交通会館に設置した生中継会場は、キャパシティが300席だそうだが、内容やゲストの豪華さを考えると少なすぎる。
- ・ゲストのトークで、俳優たちの素顔やその精進、役者魂などがかいま見られて感心した。侍社会の裏話などは、もっとじっくり私は聞きたかったし、視聴者の中の大きな部分を占めるシニア層は、そうしたものを喜ぶと思う。
- ・未契約者にまでアピールする力があるかどうかは疑問だ。ただ、こうしたイベントを定例化することは、既存契約者の解約防止になるだろう。
- ・未契約者獲得にも役立つと思う。しかし、中継会場が狭く、人通りの多い駅前広場からの中継だったならば、ライブのインパクトがより強かったと思う。
- ・イベントを生放映する意義はあるのかと疑問に感じた。「剣客商売」主演の藤田まことが鍋奉行だった思い出話など、作品内容とは関係がない。せっかく作品の出演者を招いての貴重な機会なのに、十分生かせていない印象だ。
- ・時代劇に夏は似合わず、秋とかの方が時期的に適当だと感じたが、どうだろうか？ ただ、CS放送での公開生放送は、意欲的だし評価したい。とはいえ、もっと若い未契約者にアピールするイベント・番組を期待したい。
- ・映像からはイベント会場が二か所に別れている詳細がよく分からず、雰囲気や内容もいまひとつ伝わらなかった。番組として夏祭り全体の魅力を届けるという意味では、十分でなかった気がする。
- ・いつまでもシニア層だけをターゲットにせず、女性等新しい層を開拓しなくてはならないが、そのためにどうすべきか、という発想が必要。一方で、番組ターゲット層であるシニア層のためには、真夏に屋外イベントを開催するのではなく、時期をずらして開催したほうがよいだろう。

<事業者回答>

- ・イベントを生放送し、視聴者と今という時間を共有することで強いアピールができると考え、一日かけてのイベントと番組を企画した。当日の会場は大変盛況で、用意したチラシがなくなった。会場責任者の目測だが、2万人程度が参加したと思われる。
- ・夏はスポーツに視聴率・視聴者とも奪われるので、敢えてその時期の盛り上げ材料として特別な一日を設定し、番組を編成した。駅前広場と交通会館とに場所を分けたのは、天候のリスクを避けるためだが、今年は屋外が暑過ぎた。今後のこうしたイベントの開催時期については、改めて検討したいと思う。

7. 議題（2）報告事項

【日本映画専門チャンネル】

戦後 70 年目の終戦記念日にあわせ、8 月 15 日に「植木等劇場ザ・ファイナル『本日ただいま誕生』」TV 初放送した。この映画は、東京国際映画祭で特別上映した作品。また、同作品が渡辺プロダクションの倉庫から発見されたエピソード等を映像化したドキュメントドラマ「本日ただいま放送～植木等・幻の主演映画～」も制作、併せて放送した。

【時代劇専門チャンネル】

この秋から来年にかけて「藤沢周平 新ドラマシリーズ」として 4 本のオリジナルドラマを制作する。第一弾は 10 月 31 日(土)BS スカパー！放送の仲代達矢主演「果し合い」。監督は弊社社長杉田成道。10 月 8 日(木)に丸の内ピカデリー1 で完成披露試写会を行う。その後、東京・東銀座の東劇でも 1 週間限定でモーニングショーでの上映が決定した。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、平成 27 年 11 月 17 日(火)16 時より開催。